

重金属安定化性能

●A-200Lシリーズ適正添加量の目安（ストーカ炉飛灰）

- 焼却飛灰含有のPb1,000mg/kgに対して、A200Lシリーズ添加率1%程度（飛灰重量当たり）で溶出を防ぐことが可能です。

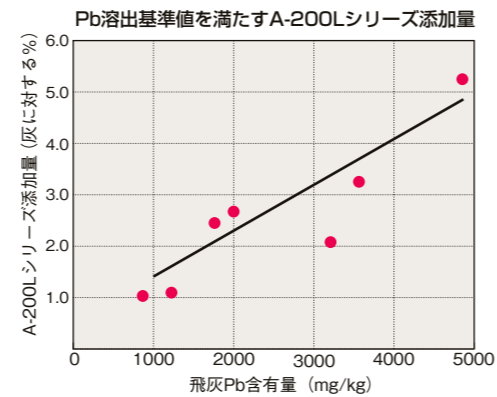
注）飛灰中の重金属含有量は、ごみ質により変わりますので重金属安定剤の注入量も異なります。

供試飛灰の工場運転データ

焼却炉形式	ストーカ炉
有害ガス除去装置	乾式・ろ過式集塵機
A-200Lシリーズ添加量	2%

供試飛灰詳細データ例

	単位	Pb	Cd	Cr ⁶⁺	T-Hg	As	Se	pH
原灰の含有成分	(mg/kg)	1,200	60	2	11	15	2	12.2
処理後溶出値	pH以外 (mg/l)	<0.05	<0.001	<0.02	<0.0005	<0.1	<0.05	—
埋立基準		0.3	0.09	1.5	0.005	0.3	0.3	—



A-200Lシリーズの物性

比重 (25℃)	約 1.2~1.3
pH (25℃)	約 13~14

※濃度 40wt%

優れた安全性

●ガス発生量

- 作業環境測定基準（CS₂ガス、H₂Sガス：1ppm）に適應可能

使用薬剤	添加剤量		溶出液の組成		ガス発生量	
	薬剤 (wt%)	加湿水 (wt%)	pH	Pb (mg/L)	CS ₂ (ppm)	H ₂ S (ppm)
未処理灰	—	—	—	—	—	—
A200Lシリーズ（ピペラジン系）	1.0	25	12.2	9	—	—
	1.5	25	12.2	<0.01	0.5	<0.2
管理温度	—	—	—	—	1	1



JFE エンジニアリング 株式会社 <http://www.jfe-eng.co.jp>

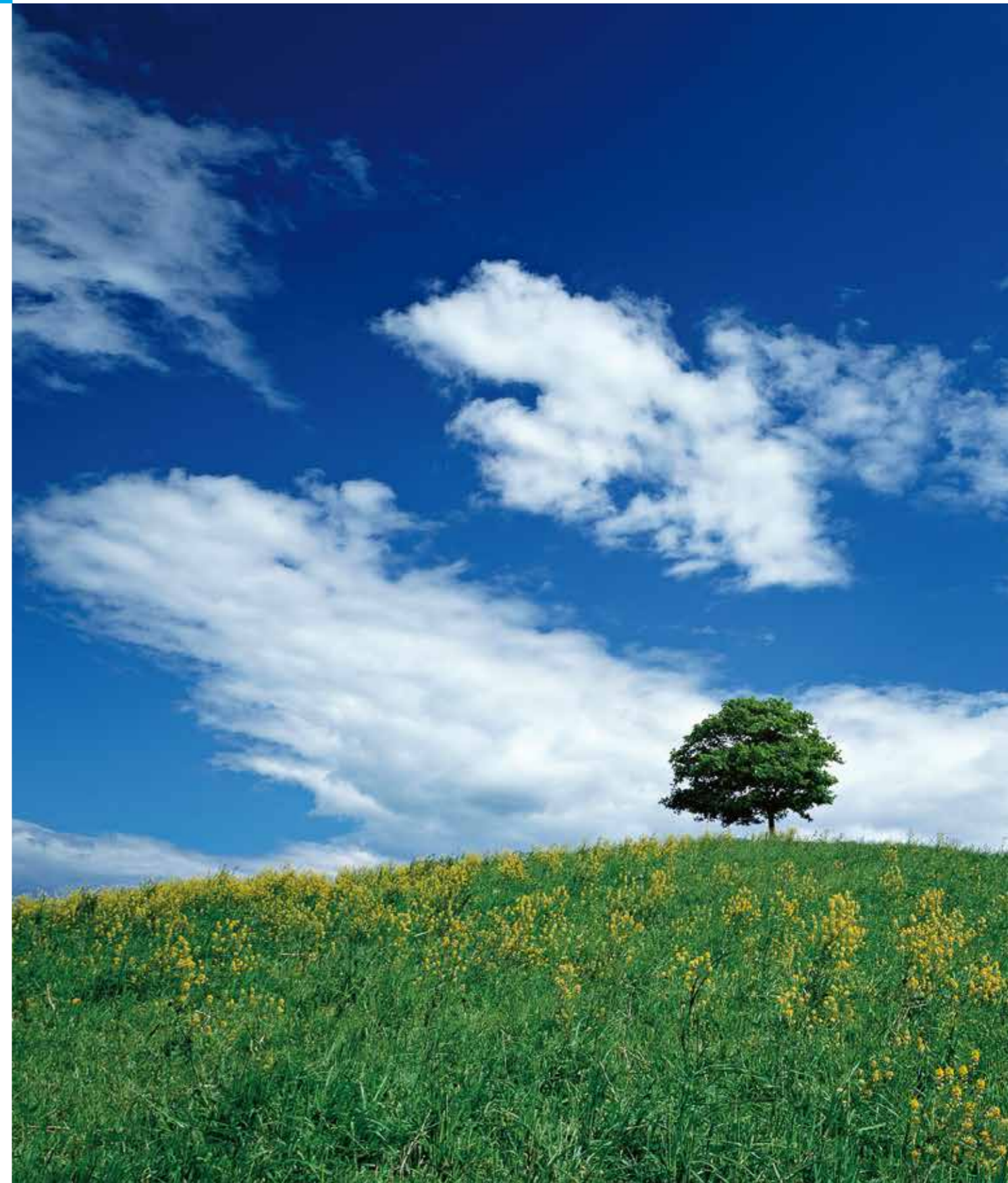
環境本部 PPP事業部

〒230-8611 神奈川県横浜市鶴見区末広町二丁目1番地 TEL.045-505-7613 FAX.045-505-8925



JFE飛灰処理システム

重金属安定剤A-200Lシリーズ



重金属安定剤A-200Lシリーズ

A-200Lシリーズは高性能で安全な重金属安定剤です。

特別管理一般廃棄物
法規制強化

ごみ焼却炉や溶融炉から発生する飛灰は、最終処分場での降雨などにより重金属が溶出する可能性があるため、特別管理一般廃棄物に指定されています。さらに2003年12月より鉛等の溶出基準が強化され、より高度な処理技術が求められるようになりました。

高性能なA200Lシリーズ

少ない添加量で高い効果を発揮します。そのため維持管理費の大幅な低減が可能です。

より高い安全性

飛灰・焼却灰の重金属処理中に発生する二硫化炭素等の有害ガスを従来品に比べ極めて低く抑制しています。

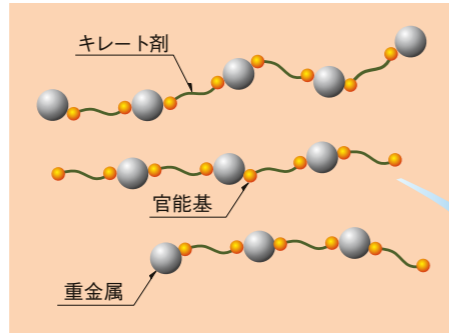
優れた重金属処理効果

飛灰・焼却灰中のPb、Cd、Hgと反応して強力なキレート結合で、水に不溶性な重金属キレート化合物を形成します。

重金属安定剤 A-200Lシリーズ



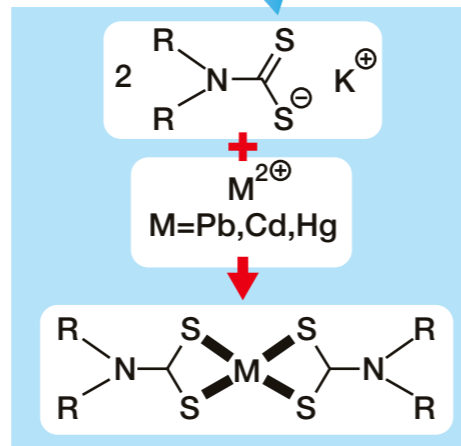
キレート化反応



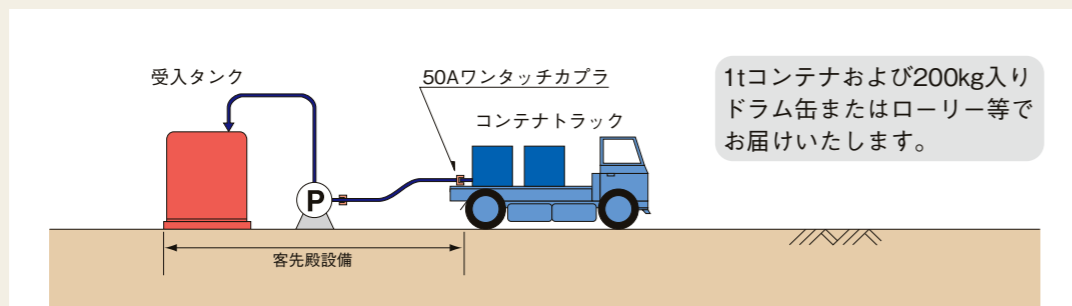
安定化処理後の飛灰



● 重金属イオンと反応して、安定で水に溶けないキレート錯体を生じます。



● 重金属安定剤 A-200Lシリーズの荷姿



重金属安定化システムのフロー

